



東久留米市議会議員

[ 所属会派・市民自治フォーラム ]

社会民主党機関紙

東久留米版

THE SHAKAI SHIMPO  
社会新報
 ◆ ( 曜日 ) 号外  
 発行所  
 社会民主党全国連合機関紙宣伝部  
 通判(水曜日発行)  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

# 青木ゆうすけ 市議会報告

令和元年

第4回  
定例会

昨年は大変お世話になりました。多くの方々のご支援のおかげで日々活動できております。

本年も公約達成に向けて努力いたしますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

12月3日～24日に令和元年市議会第4回定例会が開催されました。私の一般質問のご報告をお届けします。

連絡先 TEL:090-4466-0195

E-mail:yusuke1107aoki@gmail.com

@yusuke\_aoki\_sdp

## 青木ゆうすけ プロフィール

1991年名古屋市西区に生まれる。

愛知県立明和高等学校卒業。

早稲田大学人間科学部卒業後、都内不動産会社に勤務。

2019年4月の東久留米市議会議員選挙に社会民主党公認で立候補し、当選。

社会民主党三多摩地区本部幹事、同東久留米総支部市民協働委員。

滝山団地1街区12号棟506号室在住

## 社民党自治体議員団にて世田谷区の「ほっとスクール希望丘」を視察しました

2019年11月1日に福島みずほ参議院議員を始めとする社民党自治体議員団で、世田谷区に新しくオープンしたほっとスクール希望丘を視察しました。

ほっとスクール希望丘は主に不登校の子供たちを支援する施設ですが「学校復帰」を目的にしておらず、子ども達が安心して過ごせる居場所を提供しています。また子どもたちが自主的にプログラムを決めて活動することで、子どもたちが主体性・社交性を身に着けることができるようになっています。


 運営団体の  
方からの説明

 子どもたちが自主的に  
プログラムを決めて活動


このメンバーで視察しました

東久留米市にも学習適応教室という不登校支援教室がありますが、「学校復帰」を目的としており、個別学習がメインとなっています。

学習適応教室に私も視察に伺いましたが、2019年11月時点で中学生の利用は11名、小学生の利用はないそうです。

現在、小学生は各学校での対応を行っているとのことですが、小学生の不登校:10月末 59名(病気や海外渡航も含む)とのことなので、世田谷区のように、通いやすい学習適応教室をつくる必要があると痛感しました。

## Q1

一般質問

## 学習適応教室について

**青木** 学校復帰という目標を掲げることで、子どもたちがプレッシャーを感じ、通えなくなることがあると伺っている。学校復帰を目的とするという書き方をする必要はあるのか？

**答弁** 自分に自信を持って学校に復帰することが主目的であるが、長期的な視野で主体性を育むことも目的とし、安心して通える環境づくりを心掛けている。また実態に応じて学習内容を変えている。(学校復帰という文言について問題ないと考えている)

**青木** 「学校復帰」という看板により、そもそも通えていない子どもたちもいるのではないかと。多種多様な悩みを抱えている子どもたちが安心して通えるような仕組みづくりを求める。

### 青木の主張

子どもたちに安心して通うことのできる環境を整えるべきと主張しました。また本市では公立小中学校の生徒対象とうたっているのに、私立学校に通う子どもも通えるような文言への修正を求めました。

## Q2 | 空き家・空きテナント対策について

一般質問

### 空き家対策

**青木** 駅やバス停から遠いエリアで住宅に適さない家や、再建築不可物件で貸家としても機能しない家については、市が主体的に対応すべきである。このような空き家は、地域での交流所としての利用や東京都の助成金を活用しリフォームを行う必要があることから、全国版の空き家バンクではなく、東久留米市が中心となって媒介を行うべきものであると考えるが、本素案における対応方針等について伺う。

**答弁** 空き家の有効活用は課題の一つと考えている。まずは所有者へ全国版空き家バンクへの登録を促すことを市としては考えている。

**青木** 東京都の登録の現状を見ても空き家バンクへの登録件数はほとんどない。効果に疑問がある。再検討を求める。地域での利活用に向けて、本市の空き家のデータベースについて所有者の許可をとったうえで、公開をできないか。

**答弁** 今後関係部署と調整していく。

### 空きテナント対策

**青木** 商店街の存続支援をどのように行っていくのか。

**答弁** テナント誘導のための家賃補助や、各種団体との連携によるマッチング支援などを行っている。平成30年度の誘致実績は3件（いずれも滝山中央名店街）。いずれの店舗も当該商店街になかったものである。

**青木** 誘致したお店の開店後の支援については取り組んでいるのか。

**答弁** フォローは商店街で行う。

**青木** 滝山中央名店街に誘致された3店のうち1店はすでに閉店している。市としてもフォローをお願いしたい。

### 青木の主張

私は不動産会社に勤めていましたので、その経験をもとに空き家対策計画の内容について、また滝山在住の方から商店街を活気づけてほしいと要望をいただき、商店街の空きテナント対策について質問を行いました。現在の空き家バンク制度は、他の売買・賃貸のポータルサイトと変わらず、地域での有効活用の効果は得られないと考えています。今後も空き家問題は取り上げていく予定です。

空きテナント対策では、商店街活性化支援事業により3件の店舗が滝山中央名店街にオープンしましたがすでに1件は閉店しています。開店後のフォローアップにも注力すべきと主張しました。

## Q3 | ごみ集積所跡地について

一般質問

**青木** 集積所の跡地の売却・利活用の対応について全庁的に対応できないのは何故か。

**答弁** 企画調整課・管財課・環境政策課で調整を行っている。先般も行政財産の所管替えについて適宜進めていく確認を行った。

**青木** 利活用についてはどのように検討しているか。

**答弁** 利活用は所管替え後の検討になる。まずは売却を進めることに注力している。目安価格を載せるなどの対応を考えている。

**青木** 市民要望として、防災倉庫・駐輪場・ベンチ・宅配ボックスなどの要望がでている。速やかな対応を求める。

### 青木の主張

ごみ集積所の売却・利活用が進んでいない現状があります。現在、本件については、ごみ対策課が担当となっておりますが、早期に所管替えを進め、地域での活用を図っていくべきです。引き続き質問をして参ります。

## Q4 | 広報ひがしくるめについて

一般質問

**青木** 広報の文字が小さく見にくいとの市民要望がある。文字の拡大の検討状況について伺う。

**答弁** 他の自治体の広報を参考にしながら検討していく。予算の関係もあるため、文字の拡大を含め様々な角度から検討していく。

**青木** 重要な情報が広報には載っている。速やかに対応をお願いしたい。

## 議会外活動

野火止用水保全対策の一員として  
野火止用水の沿道を清掃しました。↓



↑ 滝山団地・西団地のお餅つきに参加させていただきました。写真は西団地のお餅つきです。